

第5章 計画の推進体制と進行管理

1 推進主体の役割

文化の主役は市民です。行政や市民をはじめとするさまざまな文化の担い手や施設等が役割を分担しながら、連携及び協働により、基本理念の実現に向け、施策を展開していく必要があります。

（１）市民に期待される役割

- ・市民には、文化の担い手として文化活動に参加し、文化を楽しみ、焼津市の文化を育むことが期待されます。

（２）文化に関わる団体に期待される役割

- ・文化団体や事業者、教育機関等、文化に関わる団体には、市民が文化に触れる機会を提供するとともに、文化活動への支援を行うことが期待されます。

（３）市の役割

- ・市は、文化の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進します。
- ・市は、文化の振興に関する施策を行うに当たり、市民の意見を反映するよう努めるとともに、観光、産業、教育その他の行政分野の施策との連携を図ります。

（４）公益財団法人焼津市振興公社の役割

- ・焼津市振興公社は、公益目的事業を行うため、公益財団法人として設立されました。焼津市の文化施策を推進するため、市のパートナーとしての役割を担っています。
- ・焼津市振興公社は、本計画の主要な推進主体として、市民が各種文化に触れる環境の整備と市民自身による創造的な文化活動を支援します。
- ・焼津市振興公社は、文化会館及び天文科学館の指定管理者として、芸術文化事業、自主事業及び貸館事業を通じ、本計画の基本方針に沿った事業を重点的に推進します。

【焼津市振興公社の取り組み】

基本方針	取組内容
1 誰もが身近に文化に触れ、楽しみながら活動する機会の充実	・表現、想像、創造など豊かな感性を育む多彩で上質な文化・芸術作品に触れられるように鑑賞・体験機会を提供します。 ・地域の文化団体とのネットワークやこれまで培ってきたノウハウを活用し、地域や関係団体と連携した事業展開を図ります。 ・貸館事業において、積極的に文化催事などの利用促進を図ります。 ・市民による文化活動が積極的に行われるよう、練習や発表の場を提供し、文化活動を支援します。 ・次世代を担う子どもに本物の文化・芸術に触れる機会を提供し、子どもたちの豊かな感性の醸成を図ります。
2 焼津が育んだ文化の継承と文化を担う人材の育成	・「音楽と子ども」というコンセプトの下、将来の文化芸術の担い手を育成する事業を展開します。
3 文化の持つ力を活かした交流でにぎわうまちづくり	・芸術文化事業、自主事業及び貸館事業において、交流の活性につながる事業を通じ、交流人口の拡大を図ります。

2 計画の進行管理と評価

計画の最終的な進捗状況の検証の参考とするため、文化・芸術に関する市民意識調査の結果と、「交流人口1000万人達成ロードマップ」の目標値の達成度により、本市の文化振興施策の推進状況を管理します。

また、本計画を推進するための事務事業をアクションプログラムでまとめ、PDCAサイクル（Plan（計画）Do（実施）Check（評価）Action（改善））により、進捗状況を管理します。

本計画の基本方針を達成していくために、各基本事業に位置付ける具体的な取組内容についてアクションプログラムを策定し、年度ごとに実績を取りまとめ、文化団体を代表する者、学識経験者、事業者を代表する者等の委員で構成される「焼津市文化振興計画推進委員会」に報告を行い、専門的な見地や市民の意見を反映し評価を行います。

【PDCAサイクル】



